

生活

旬のやさしい 落花生
花の根元から枝のようなものが地面に向かって伸び、地面に刺さると土の中に莢(まき)を作り結実。花が落ちて実が生まれるから落花生。

くらしのこよみ
うつくしいくらしかた研究所

◎ 東京新聞

● 高齢者の急変

在宅療養を受けていらっしゃる高齢者は、複数の慢性疾患をかかえています。介護の支援は必要ですが、自宅での日常生活を何とか送ることができません。ところが、ひとたび体調を崩すと重篤な状態



Dr.松井英男の

在宅医療のカルテ

になることがあります。この場合、自宅で治療ができる範囲で肺炎や尿路感染、さらには外傷(けが)の治療を行います。入院が必要なこともあります。治療が必要になった場合、どの程度の治療をいつまで行つかの判断は時として困難ですが、入院医療と在宅医療をつまぐ組み合わせることによって、在院期間を短くし、家での生活時間を長くすることが重要と考えています。

救急搬送 必要なときも

一方、ある日突然、患者さんが「心肺停止」の状態で見つかることもあります。これまでの状況から、それが病状による自然の経過であれば、自宅でのみとりも可能ですが、治療が必要なきときは救急車を呼んで病院に搬送といことになりま



自宅で血圧を測定する

救命センターの医師から電話越しに怒鳴られることもあります。このような搬送は、家族の意向に沿うためにはやむを得ないことも多いのです。

先日の御嶽山の噴火災害の報道でも用いられていた「心肺停止」という用語は、一般的にはまだ蘇生の可能性がある状態を意味します。日本の場合、「死亡」の判定は医師にしかできないので、医師の診断で初めて「死亡」になります。しかし、これまでの状況が不明だったり、事件性が疑われる場合は「異状死体」の扱いになり、警察による検視が必要になります。在宅医療における高齢者の急変では、常にこれらの問題と向き合わなければなりません。

(川崎高津診療所院長)
次回は二十一日掲載

※「在宅医療のカルテ」は第1・3火曜に掲載します。